



令和6年2月14日発行
横浜市立根岸小学校
校長 杉山真理子
養護教諭 阿部 涼子

2月に入り、一段と寒さが厳しくなりました。それでも天気の良いと外に出て体を動かしている子どもたちは多く、感心させられます。まだまだ寒い日は続きそうですが、2月の保健目標のように、外に出て体を動かす時間も作り、睡眠・食事とあわせて体の抵抗力アップにもつなげていきたいですね。

2月の保健目標

寒さに負けず進んで運動しよう



新型コロナウイルスもまだまだ流行していますが、以前から冬に流行しやすいと言われているインフルエンザやノロウイルスも引き続き注意が必要です。ノロウイルスなどの胃腸炎は感染しやすく、また発症すると急激に嘔吐・下痢などの症状が現れることもあります。お子さんに体調の変化が見られたら、いつもよりじっくりと健康観察をしたりお子さんに体調を確認したりして、無理のないように過ごしましょう。



予防の基本は手洗い。ウイルスを体内に入れないことが大切



手洗いは食事の前、トイレの後は特に念入りに



感染したら安静にして休む。下痢や嘔吐の後は水分補給を

ノロウイルスについて覚えておいてほしいこと



回復後も2週間程度、便などでウイルスが出る→しっかり手洗い



教室などで嘔吐があったら、すぐに先生に連絡→処理・消毒



汚染された二枚貝などからも感染。十分加熱されたものを食べる

2月2日(金)5時間目に、第2回学校保健委員会を行いました。

今年度の学校保健委員会のテーマは、「けが予防チャレンジ」です。7月に実施した第1回の学校保健委員会では、けがが起きる原因や防げるけがを防ぐにはどうしたらよいかを、児童保健委員会が作った動画やクラスでの話し合いを通して考え、クラスごとに「チャレンジ」を決めました。

今回、第2回学校保健委員会では、

☆児童保健委員会が作った動画の視聴(前半)

- ・1年間の根岸小学校で起きたけがについて
- ・けがマップをもとに、場所ごとに気をつけたいことは?
- ・「けが予防チャレンジ」の振り返りインタビュー

☆クラスで話す時間(後半)

- ・1年間のけがや「けが予防チャレンジ」の振り返り
- ・今後の「けが予防チャレンジ」を決める

といった内容で行いました。

各クラスの振り返りを見ると、7月よりも特にこの場面で気をつけたいといったことが具体的に出ていて、半年間意識して過ごせていた様子も見ることができました。防げるけがを意識して防ぐことで、健康な体づくりや意識につながっていけばと思います。



当日、学校保健委員会の様子を見てくださった、PTA 保健委員の保護者の方の感想

動画の子どもの声が小さくて聞こえず、頑張っている姿が残念でした。この一年で取り組み、けがが減ったことは良かったです。一人ひとりがルールを守っていると結果が出ますね。減った理由がそれぞれ具体的でとても良かったです。

PTA 保健委員 6年生保護者

クラスの話合いを見させていただきましたが、みんな色々な意見があって、よく考えているなど思いました。今後もこのような機会を設けていただくと、子どもたちもけがをしないように気をつけようと思うようになるので、今後も続けていってほしいです。

PTA保健委員 5年生保護者

7月7日の「けが予防チャレンジ」でクラスごとにたてた「チャレンジ」がどのクラスも改善できていたようでした。クラスの話合いの中で最も多かった意見は「まわりをよく見る」ということで、子どもたちも意識的に行動ができてよかったと思いました。これからも「けが予防」という観点からではなくても、まわりをよく見て行動ができるようになればいいと思います。

PTA保健委員 4年生保護者

クラスの中に入って見学するのが難しかったので、ディスカッションの内容があまり聞き取れませんでした。7月に決めたチャレンジのリスト(全クラス分)のようなものが手元があれば良かったかなと思いました。子どもたちが今回決めたチャレンジに取り組んで、さらに校内のけがが減っていけばいいと思います。

PTA 保健委員 6年生保護者

児童のみなさんがどうしたらけがを防げるかやこれまでのふりかえりを話し合っている姿が印象的でした。けが予防チャレンジについて話し合う機会を設けることで、一人ひとりがけがを回避できることにつながってくれたら良いと思います。

PTA保健委員 5年生保護者